

脳卒中地域連携パス説明書・同意書

このたびの発症・入院に際しまして、ご心配のこととお察し申し上げます。

備後脳卒中ネットワーク（備後脳卒中地域連携を考える会）では脳卒中診療における患者様のリハビリテーションを含めた今後の治療がスムーズに進むことを目的として『備後脳卒中地域連携パス』を作成いたしました。

地域連携パスとは

脳卒中の治療は、急性期病院での治療から、病院や施設・在宅での回復期・維持期のリハビリテーションを中心とした介護まで、一貫した計画のもとに行われます。地域連携パスとは、切れ目なくスムーズに患者様の状態を伝達するため、地域で統一された様式で作成された情報提供書です。

目的・特徴

- よりよい機能・能力回復が得られるよう各病院・施設間の連携を深めます
- 情報が一覧で見やすく、目標が段階的に示されているため、転院直後に各患者様に応じた今後の治療・リハビリテーションの方針を立てることが出来ます。
- 急性期病院と連携する病院・施設が定期的に話し合いを行い、より迅速に対応できるシステムを作ります。

内 容

急性期病院や連携する病院・施設など各々の機関の退院時に、担当者（医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーなど）が統一した様式に患者様の状態を書き込み、次の紹介先機関に送ります。紹介先の担当者は、患者様の入院中の目標や経過を確認し治療やリハビリテーションの継続を行います。

以上の趣旨をご理解のうえ、「備後脳卒中地域連携パス」の運用にご協力をいただきますようお願い申し上げます。その際は、個人情報が出洩することがないように十分に留意いたします。

また、脳卒中発症後、1年経過されたところに、日常生活の状態確認をさせていただきたいと思っております。
生活上の問題、また医療機関・介護保険関連施設へのご意見・ご要望等ありましたらお知らせください。
ご協力よろしくお願い致します。

ご不明な点、ご質問がございましたら、遠慮なく担当医や職員にお尋ねください。

平成 年 月 日

病院 担当者： _____

患者氏名： _____

代諾者名： _____ 続柄： _____